「キリスト者として苦しみを受ける」　2026年02月06日

愛する人たち、あなたがたを試みるために降りかかる火のような試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、驚き怪しんではなりません。かえって、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ち溢れるためです。キリストの名のゆえに非難されるなら、あなたがたは幸いです。栄光の霊、すなわち神の霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。あなたがたのうち誰も、人殺し、盗人、悪を行う者、あるいは、他人に干渉する者として、苦しみを受けることがないようにしなさい。しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じてはなりません。かえって、この名によって神を崇めなさい。なぜなら、裁きが神の家から始まる時が来たからです。私たちがまず裁きを受けるのだとすれば、神の福音に従わない者たちの行く末は、どうなるでしょうか。「正しい人が辛うじて救われるのなら／不敬虔な者や罪人はどうなるのか。」ですから、神の御心によって苦しみを受ける人は、善い行いをし続けて、真実であられる創造主に自分の魂を委ねなさい。（Ｉペトロ４：12～19）

著者は、小アジアの諸都市に住むキリスト者たちに「愛する人たち」と呼びかけ、「あなたがたを試みるために降りかかる火のような試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、驚き怪しんではなりません。かえって、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど喜びなさい」と言う。彼らは周りの人々から迫害や苦しみを受け、その理由に納得できず、驚き、途方に暮れていた。著者は、あなたがたの身に降りかかった火のような試練はキリストの苦しみに与る苦しみであるから、喜びなさいと諭している。試練をキリストの苦難に与る喜びとするのは、キリストが再臨される終末に、神の栄光が現れ、更なる喜びに満ち溢れるためである。また、キリストの名のために非難されるなら、栄光の霊、即ち、神の霊があなたがたの上に留まってくださっているのだから、幸いである。あなたがたのうち誰も、人殺し、盗人、悪を行う者、あるいは他人に干渉して害を与える者として、苦しみを受けることがないようにしなさい。著者は、「しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じてはなりません。かえって、この名によって神を崇めなさい」と、キリスト者として受ける苦しみは、恥ではなく、キリスト者として認められることで、神を崇めなさいと励ましている。主イエスは、「私のために、人々があなたがたを罵り、迫害し、ありもしないことで悪口を浴せるとき、あなたがたは幸いである。喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである（マタイ5:11～12）」と語っておられる。著者は、「裁きが神の家から始まる時が来たからです」と、神の裁きは神の民から始まると語っている。エレミヤは、「私の名が呼ばれる都（エルサレム）にも、私は災いを与え始めているからである（エレミヤ 25:29 ）」と預言している。キリスト者の私たちがまず裁きを受けるのだとすれば、福音に従わない者たちの行く末はどうなるのか。正しい者が辛うじて救われるのなら、不敬虔な者、罪人は厳しい裁きを受けることになる。「ですから、神の御心によって苦しみを受ける人は、善い行いをし続けて、真実であられる創造主に自分の魂を委ねなさい。」著者は、迫害に遭ってどんな苦しみを受けても、キリストの十字架に結び合うことだから、喜び、善行に励み、神に自分の魂を委ねて平安であれと励ましている。